

開催方式の概要

方式	内容			参加者	テーマ設定	開催回数 (年間)
	具体的方法	メリット	デメリット			
対面方式	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの会場に集まり、全体で意見交換を行う、又は全体を幾つかのグループに分け、グループごとに外部に向いて意見交換を行う。 ・全体会議後に、グループに分かれて意見交換を行うケースもある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の表情や感情が感じられる。 ・意思の疎通が図りやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論点がずれてしまうおそれがある。 ・声の大きな人の意見が目立ってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者を限定する場合と、限定しない場合がある。 ・限定する場合、 ①市内在住、在勤、在学の者 ②テーマに関係する団体や年代（高校生、大学生など） ③出向いた地区に居住又は勤務する者 などといった条件を付している。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的に、テーマは設定する。 ・テーマは、全市的な課題、出向く地区の抱える課題などから設定 ・テーマが設定されていなくても自由討議は可能 	1回又は2回
ワークショップ方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリテーター（進行役）の進行の下で、与えられたテーマに対して複数人からなるグループで話し合い、共同作業を行う。 ・参加者同士で双方向のコミュニケーションを取りながら、課題の解決を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者意識や達成感が得られやすい。 ・体験を通して知識を深く理解できる。 ・様々な意見に触れられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・議論が活発化するかは、参加者の理解度や意欲に左右される。 ・参加したことに満足してしまう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ設定は必須 ・テーマは、全市的な課題、出向いた地区の課題などの中から設定 	1回又は2回
ワールドカフェ方式	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数グループを構成して、リラックスした雰囲気の中で意見交換を行い、一定時間が過ぎれば、ホスト役を残しメンバーを入れ替え、対話することを繰り返す。 ・参加者が自由に意見を出し合い、相互理解を深めながら、アイデアや知識を得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見が言いやすい。 ・様々な意見が共有できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見がまとまりにくい。 ・テーマから脱線しやすい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ設定は必須 ・テーマは、全市的な課題、出向いた地区の課題などの中から設定 	1回又は2回
オンライン方式	<ul style="list-style-type: none"> ・Web会議システム（ZOOMなど）を利用して、複数会場をつなぐ、又は主会場と任意の参加場所（自宅など）をつなぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場に来られない人でも、Web環境が整っていれば、身近な場所から参加できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の表情や感情がつかみにくい。 ・通信状態や機器の調子に影響を受ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・対面方式と同様 	1回